

【 政 治 】

● 内政

- 1 政府、ンドラ・ルサカ間幹線道路整備に署名
- 2 政府、中等教育寄宿制学校120校建設予定
- 3 野党、大統領に習近平中国国家主席との会談を求める
- 4 反汚職委員会、監査総監を逮捕・告訴
- 5 反汚職委員会、18人の財務省高官を逮捕
- 6 反汚職委員会、前ザンビア陸軍秘書官を逮捕
- 7 政府、Presidential Delivery Unit を設立

● 外交・対外関係

- 1 ザンビア・EU 医薬品製造フォーラム、開催
- 2 ザンビアとスペインの製薬会社、医薬品製造会社設立に関する覚書署名
- 3 大統領、国連事務総長とバイ会談
- 4 大統領、第5回国連後発開発途上国会議出席
- 5 英国、ザンビアの債務再編への支援表明
- 6 大統領、カタール副首相兼外務大臣とバイ会談
- 7 1万人超のコンゴ（民）難民、本国送還
- 8 外務大臣、英国訪問
- 9 ザンビア、マラウイに人道支援
- 10 ザンビアとコンゴ（民）、経済特区設置に向けて資金調達合意
- 11 ザンビア、第2回民主主義サミットを共催

【 経 済 】

- 1 製薬会社、新たに3百万ドル投入
- 2 ザンビア・コンゴ（民）間国境、24時間運用を許可
- 3 トルコ航空、復活
- 4 ZESCO、Ultra Green 社と25年の太陽光取引に署名
- 5 燃料価格、下がる
- 6 インデニ、再開準備整う
- 7 カフェ峡谷水力発電：マラウイ電力会社一部の電力を求める
- 8 中国、ザンビアと30億米ドルの取引

政治

● 内政

1 政府、ンドラ・ルサカ間幹線道路整備に署名

政府は、総額5億7,700万クワチャの官民連携 (public-private partnership) による327kmのンドラ・ルサカ間の幹線道路のコンセッション事業について署名した。25年間のプロジェクト期間のうち、3年間は建設に、残りの22年間は操業とメンテナンスに充てられる。(3月1日付 Daily Mail)

2 政府、中等教育寄宿制学校120校建設予定

政府は、2023年第3四半期に、中等教育寄宿制学校120校の建設に乗り出し、教育サービス提供を高める。学校は国内全体で建設され、2025年までに完成予定。(3月2日付 Daily Mail)

3 野党、大統領に習近平中国国家主席との会談を求める

ムンドゥビレ野党代表は議会において、「ザンビア経済は絶望的な状況にあり、ヒチレマ大統領が習近平中国国家主席と対面での会談を行わなければ事態は改善できない。中国はザンビアの債務再編において重要な役割を担っており、ヒチレマ大統領に速やかな中国訪問の検討を再度要請すると述べた。(3月5日付 Daily Nation)

4 反汚職委員会、監査総監を逮捕・告訴

反汚職委員会は、100万クワチャ超の汚職を理由にシチェンベ監査総監を逮捕及び起訴した。(3月10日付 Daily Mail)

5 反汚職委員会、18人の財務省高官を逮捕

財務省における汚職を理由に反汚職委員会が逮捕した政府高官は18名となった。調査を受けている一部関係者は、違法に受け取った金銭を返還すると申し出ている。(3月18日付 Daily Mail)

6 反汚職委員会、前ザンビア陸軍秘書官を逮捕

反汚職委員会は、サカラ前ザンビア陸軍秘書官を大統領専用機 Gulfstream G650 の調達に係る4億ドルの汚職を理由に逮捕及び告訴した。(3月10日付 Daily Mail)

7 政府、Presidential Delivery Unit を設立

政府は、政策の実行を加速化し、最終的にはサービス提供を高め、国民全体の福祉を向上するための Presidential Delivery Unit を設立することを公表した。カサンダ首席報道官によれば、優先順位の高いプロジェクト及びプログラムの実施が加速化される。(3月30日付 Daily Mail)

● 外交・対外関係

1 ザンビア・EU 医薬品製造フォーラム、開催

3月1日から3日にかけて、ルサカでザンビア・EU 医薬品製造フォーラムが、現地での医薬品製造を通じたヘルスケアの強化をテーマに開催される。開会にあたり、ヒチレマ大統領は、現地及び海外の製薬会社に対し、医薬品の製造を開始することを訴えつつ、コレラワクチンのような医薬品の製造は支出を減らし、患者によるアクセス及び入手を容易にすると述べた。(3月2日付 Times of Zambia)

2 ザンビアとスペインの製薬会社、医薬品製造会社設立に関する覚書署名

3月2日、ザンビア・EU 医薬品製造フォーラムに際し、Pharmanova Zambia 及びスペインの Fredlab は、ザンビアにおいて最新の医薬品製造会社の設立に関する覚書に署名した。ムハンマド Pharmanova 代表取締役によれば、新しく設立される会社は、ザンビアのみならずサブサハラ地域においてサービスを提供し、疾病に対して正しい医薬品が提供される一助となる。(3月2日付 Times of Zambia)

3 大統領、国連事務総長とバイ会談

3月4日、ヒチレマ大統領は、第5回国連後発開発途上国会議の際に、グテーレス国連事務総長とバイ会談を行った。会談に際し、ヒチレマ大統領は、思うように進んでいない債務再編に係るG20共通枠組みの課題について特にとりあげつつ、同事務総長に対し、本件妥結に向けた支援を依頼した。(3月5日付 Daily Mail)

4 大統領、第5回国連後発開発途上国会議出席

3月5日、ヒチレマ大統領は、第5回国連後発開発途上国会議における演説で、貧困削減より富の創造を優先する必要がある、貧困削減は経済を成長させないが、富の想像はそれを実現できる、これは極めて重要な側面であると述べた。また、同大統領は、後発開発途上国は公平な価格での資本へのアクセスを確立する必要があり、より多くの資本が後発開発途上国に流入することにより、それが実現できると述べた。(3月2日付 Times of Zambia)

5 英国、ザンビアの債務再編への支援表明

第5回国連後発開発途上国会議の際に、ミッチェル英開発・アフリカ担当大臣は、ヒチレマ大統領に対して、英国は共通枠組み下でのザンビアの債務再編に向けた交渉を支援すると約束しつつ、英国政府は開発金融機関ブリティッシュ・インターナショナル・インベストメント (BII) を通じて引き続きザンビアへの投資を行うと述べた。(3月7日付 Daily Mail)

6 大統領、カタール副首相兼外務大臣とバイ会談

ヒチレマ大統領は、第5回国連後発開発途上国会議の際に、ムハンマド・カタール副首相兼外務大臣とバイ会談を行った。同大統領は、カタールに対してザンビアへの投資を促しつつ、ドーハに

おける近い将来のザンビア大使館の開所は、様々な分野における開発協力を高め、と両国間の絆を強めると述べた。(3月8日付 Daily Nation)

7 1万人超のコンゴ(民)難民、本国帰還

内務省は、2022年6月から2023年1月までに行われた自発的な本国帰還によって、10,561人のコンゴ(民)からの難民が本国に戻ったことを明らかにした。本取組は、ザンビアで生活する難民に対する永続的な解決策を提供するものであり、UNHCRとの協力により執り行われた。(3月14日付 Times of Zambia)

8 外務大臣、英国訪問

3月13日、英国連邦の日レセプションに招待されたカクボ外務・国際協力大臣は、チャールズ英国国王3世と二国間の歴史的友好について会談した。また、同大臣は英国連邦外相会議の際に、クレバリー英国外務・英連邦・開発相と会談し、ザンビアの債務問題の解決及び2021年11月に署名したグリーン成長協定を通じたザンビアへの二国間金融支援について議論した。(3月15日付 Daily Mail)

9 ザンビア、マラウイに人道支援

ザンビアは、サイクロン被害を受けたマラウイからの支援要求に応じ、2,000万クワチャに相当する、5トンの救援食糧及び100トンの白トウモロコシを送った。災害管理軽減局 (DMMU)によれば、住む場所を失った5000人のうちの20%である1000人を支援ターゲットに設定しており、今後、テント、ブランケット、蚊よけネット、生理用品、トウモロコシ、豆、調理道具、塩、塩素が提供される(3月18日付 Daily Mail)

10 ザンビアとコンゴ(民)、経済特区設置に向けて資金調達合意

3月27日、ザンビア政府及びコンゴ(民)政府

は、電気自動車バッテリーのサプライチェーンのための経済特区設置に向けた事前実現可能性調査を目的とし、アフリカ輸出入銀行及びアフリカ経済委員会 (UNECA) と資金調達合意を行った。(3月2日付 Times of Zambia)

11 ザンビア、第2回民主主義サミットを共催

3月30日、ザンビア政府は、「自由で公平かつ透明性の高い選挙」をテーマとし、米国、コスタリカ、オランダ及び韓国と共に、第2回民主主義サミットを共催した。本サミットの目的は、参加国が共通の利益、理想及び民主主義の精神を共有し、またベストプラクティスの共有及び前回の第1回サミットから各国がどのように民主主義促進を実現できたかを理解することである。(3月31日付 Times of Zambia)

経済

1 製薬会社、新たに3百万ドル投入

International Drug Company Limited (IDCL)は、カブウェの自社敷地内で、生産ラインを拡大するために3百万ドルの投資を行った。今年の8月から抗生物質を試験的に製造する。同社ロドゥリグス会長は、ザンビアには製造拠点を持つ製薬会社は3社しか無く、当国における製薬分野は未発達と言えるとし、薬の供給においてザンビアが持続可能になることを信じているとした。(3月7日 Daily Nation)

2 ザンビア・コンゴ(民)間国境、24時間運用を許可

ザンビアとコンゴ(民)の Kasumbalesa、Sakania、Mokambo 及び Kipushi の国境の効率化と混雑緩和のために、1週間以内に24時間運用を実現すべく取り組んでいる。Chingola-Kasumbalesa 間道路、Solwezi-Kipushi 間道路、Sakania-Mokambo 間道路、Kasumbalesa のトラック用駐車場、Sakania、Mokambo 及び Kipushi の国境設備の改修も行われ

る。(3月8日 Times of Zambia)

3 トルコ航空、復活

トルコ航空は、イスタンブール・ルサカ間の運行を3月26日から再開する。在ザンビア・トルコ大使は右再開により、ヨーロッパの126の国と340の地域が繋がることになるとした。同路線は2020年のコロナのパンデミックにより一時運航が停止されていた。(3月14日 Times of Zambia)

4 ZESCO、Ultra Green 社と25年の太陽光取引に署名

ZESCO は、セレンジェ郡で50MWの電気を生産する Ultra Green Corporation Zambia Limited と2億6千万米ドルの電力購買合意に署名した。右により、今後25年に渡り太陽光を ZESCO に供給し経済発展を促進する。同事業は、ザンビアと米間の協力の促進から生まれ、ZESCO の「信頼できる持続可能な電力サービスをすべての顧客に提供する」というビジョンに沿った戦略的パートナーシップである。(3月18日 Daily Mail)

5 燃料価格、下がる

政府は、市場に供給される燃料価格の減少と安定のために50万米ドルでタザマ・パイプラインを改修する。石油原料輸送から完成燃料輸送に変換する右パイプラインの改修により、ディーゼル価格が1トンあたり170米ドルから121米ドルに減少する。エネルギー大臣は、低硫黄ディーゼル (Low Sulphur diesel) のパイプライン輸送により道路交通量減少による道路の安全性向上と道路改修コスト低減も期待されるとした。(3月21日 Times of Zambia)

6 インデニ、再開準備整う

インデニ・エネルギー会社は、タザマ・パイプ

インで運ばれてくる77,000トンの石油原料の精製を2年ぶりに再開した。右原料は45日かけてジェット A1、ガソリン、ディーゼル、軽油に精製される（およそ20日から30日の国内消費量にあたる。（3月21日 Times of Zambia）

7 カフエ峡谷水力発電：マラウイ電力会社一部の電力を求める

マラウイ電力公社（Electricity Supply Commission of Malawi: ESCOM)の使節団は、本日のカフエ峡谷水力発電所の試運転で750MWと12MWの発電所運用を視察した。同公社会長は、現在マラウイは需要を下回る750MW以下しか電力生産できていない。この試運転は、ザンビア国内だけでなくこの地域全体の発電能力向上につながり非常に重要な出来事であるとした。（3月24日 Times of Zambia）

8 中国、ザンビアと30億米ドルの取引

ZESCOは2,400MWの再生可能エネルギーを生産するクリーン・エネルギー中国電力会社（Integrated Clean Energy Power Company of China）と34億米ドルのメガ電力購買合意を確定する。同社は、300MWの太陽光発電所を中央州と南部州に設置され、第1フェーズの発電所は来年末には国内電力供給に接続される予定であり、第2フェーズの発電所は、太陽光、水力発電およびその他の発電源の混合になる。（3月31日 Times of Zambia）

(了)